## 事業評価シート

担当課・室長:自然ふれあい推進室長

事業名	自然とふれあうための機会や情報の提供
上位施策名	自然環境保全と自然とのふれあいの推進
1 事業の概要	昭和25年度より自然とのふれあいの促進に関する運動として、7月21日から8月20日の間を「自然に親しむ運動」期間とし、その中心行事として自然公園大会を開催するとともに、全国の自然公園等において自然に親しむための各種行事を実施。併せて自然公園の保護と適正な利用に関し功績のあった方々を表彰し、顕彰。
	平成 11 年度より子どもたちを対象に国立公園等のパトロールやマナーの普及、自然環境等の復元維持活動を行うプログラムを提供することにより、自然とのふれあいを推進し、環境の大切さを学ぶ機会を提供する「子どもパークレンジャー」事業を文部科学省との連携事業として実施。
	自然とのふれあいに関する情報を提供し、自然が大好きな人々と、自然とふれあう機会を広く提供している施設や団体とのネットワークを構築し、自然とのふれあいを推進する「自然大好きクラブ」事業を実施。
	平成 11 年度補正予算により整備した自然情報提供システム兼自 然環境学習用ホームページ「インターネット自然研究所」を適切 に維持管理するとともに、ITの進歩に対応しつつシステムやコ ンテンツの拡充を行う。
2 進捗状況	全国の自然保護事務所、地方公共団体等に対し、「自然に親しむ運動」期間中の自然とふれあうための行事の開催、参加者に対する自然の適正利用や事故防止について普及啓発を依頼し、全国展開。また、政府広報や民間協力も得ながら、広報活動を展開。平成13年度は、磐梯朝日国立公園裏磐梯地域(福島県北塩原村)において、第43回自然公園大会を開催し、各種行事の開催のほか、環境大臣表彰を行った。  全国各地の国立公園等の利用拠点11地区において、自然保護官(レンジャー)やパークボランティアの指導・協力の下、毎年約1,000人の小中学生が国立公園等のパトロール、利用者の指導啓発、自然探勝路や登山道等の清掃・維持補修、動植物の生息・生態調査、自然観察活動等に取り組むプログラムを体験している。  絵や作文などの「自然大好き宣言」を受け付け、4年間で約4万人に、自然ふれあいた。
	タンプ帳を兼ねたパスポートを配布した。また、ホームページを開設し、国立公園のビジターセンター等の自然ふれあい施設の位置、連絡先、利用案内、自然観察会等の行事開催予定などの情報を提供している。

		インターネット自然研究所では、全国40箇所以上の国立公園・野生生物ライブ映像を安定的に提供するとともに、国民参加により四季のいきもの前線調査を実施した。また、国民の意見やITの進歩を踏まえ、外国語版HPの作成を始め、システムやバージョンアップを実施した。
3 1	評価	国民に自然とふれあう機会を提供するとともに、自然保護、適 正利用及び事故防止等の普及啓発について、継続的な効果を発 揮。
		公募により参加した子供達が、実際に自然の中で様々な活動を体験することにより、教室内の教科書や視聴覚教材を用いた座学では得られない環境学習効果を発揮することが期待される。 文部科学省との連携による全国の教育委員会等を通じた活動の紹介等や民間協力(スヌーピーブランドの使用)も得た事業の展開を行っており、環境省が単独で行うよりも大きな普及啓発の効果が得られている。
		ホームページにおいて広く一般に情報提供するとともに、特に自然への関心が高い人に「自然大好きクラブ」のパスポートを配布することにより、自然への関心を更に高め、実際に自然とのふれあい活動に参加するようになることが期待でき、自然ふれあい活動に「参加」する動機付けとして効果的である。
		インターネット自然研究所は、我が国の多様な自然環境について豊富な情報を幅広く提供するとともに、自然とのふれあいを促す様々なコンテンツを提供しており、インターネットを使った自然環境学習の促進と自然ふれあい活動への参加の動機付けとなることが期待される。また、ブロードバンド(高速化・大容量化)等最新の情報技術への 十分な対応等によって、より多くの利用者の関心を集める効果が あるとともに、海外からの利用も可能となった。
4	予算事項名	・自然公園等利用推進事業費 ・子どもパークレンジャー事業費 ・自然ふれあい体験学習等推進事業費 ・インターネット自然研究所バージョンアップ事業費 ・新宿御苑「環境の杜」基本計画策定調査費
5 3	対応副施策等	